

## 笑うことの大切さ

介護職員 鎌田 奈々  
佐々木 美里

もし認知症を発症してしまったとしても人は生涯を終えるまで「欲求」と「感性」を持ち続けるものです。又、認知症を発症した事により脳の神経や細胞が破壊・障害されたとしても脳の働きが低下しないよう脳に「聞く」「見る」「触る」「味わう」などの刺激を与え続ける必要性もあります。

私達は、普段、人と会話をする際自然に『喜怒哀楽』を表現しながら会話していますが、認知症が重度になるにつれて意思疎通が次第に凶れなくなり笑う回数も少なくなってしまうのです。ですが、最近の研究では「笑う事」が認知症の方にとって最も重要であると言われています。笑いの効果としては免疫力向上脳に十分な酸素を運ぶ・体の調子を良くする事だそうです。

私達は要介護者の生活を手助けしながら楽しい時間を過ごせる様一人ひとりに合ったケアをしていきたいと思っております。そして『笑顔』の絶えないホームにしていきたいと思っております。

皆さんも沢山笑って心身ともに健康で楽しみのある生活を送ってみて下さい！！



## 【9月の行事】

9月12日 十五夜

団子を作りお月見をしました。

9月19日 敬老会

ボランティアの方々がお祝いに来てくださり、ハンドベルをしたり歌をうたったり楽しいひと時を過ごしました。



## 【10月行事予定】

10月8日 利用者様のお誕生会

ケーキをいただきながらお祝いします。

10月9日 芋煮会

ホームのお庭で芋煮をいただきます。

10月29日 中新田中カヌー一部交流会

草取りボランティアの後にレクリエーションで一汗かきます。